



学校のお客様は誰でしょう

校長 武田 靖宏

6月も下旬となり、北海道らしいさわやかな天候が増えています。とは言え、日中は30度前後まで気温が上がることもあり、熱中症予防の対策が必要な時期でもあります。学校では必要に応じて各教室のエアコンを使用しております。登下校時も含め、服装や帽子の着用など、ご家庭でも暑さ対策をお願いします。

さて、スーパーのお客様は品物を買ってくれる人ですね。病院のお客様は患者です。塾のお客様は生徒です。では、学校のお客様は誰でしょう。

多くの方は「子ども」と答えます。「保護者」という答えもあるかもしれませんが、でも私は、学校のお客様は「子ども」でも「保護者」でもなく、学校のお客様は「社会」だと考えています。なぜなら、学校には「社会を担っていくための基礎を子どもたちに身に付けさせて社会へ送り出す」という責任があるからです。ですから私たちは社会（税金）からお給料を貰っています。

学校は、子どもに対するサービス業ではありません。ですから、子どもが望まなくても必要なことは指導します。「運動は苦手だから運動会はやめてほしい」と子どもに言われたとしても、運動会の中で、責任感や連帯感、達成感などを体験することは、人生の中で生きる力を付ける大事な学びなので、やめることはしません。いくら面倒でも漢字の学習もなくなりません。知識や技能などの様々な資質や能力は鍛えることが必要だからです。

同様に、保護者の皆さんも学校のお客様ではありません。保護者の皆さんは学校にとって子育てのパートナーです。ですから、子どもの成長にとって必要だと思われることは、面倒なことでもお願いをします。マイナスだと思われる行動に対しては助言もいたします。子どもは未来をつくる社会全体の宝です。直接子育てをする保護者の皆さんにも、わが子を「社会を担い、未来を生き抜く人」に育てる責任があります。

子育てには大変なこともたくさんありますが、それを上回る楽しみもあります。我々教員も、子どもたちの成長からたくさんの元気をもらいます。

学校と保護者はパートナーですから、一緒に子育てに悩み、一緒に子育てを楽しみましょう。子どもの成長に一番いい教育活動を探していきましょう。そして、「社会を担い、自分の意志で未来を生き抜く人を社会に送り出す」という責任を一緒に果たしていきましょう。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



5月23日(土) 第74回運動会

温かいご声援ありがとうございました!

最後まであきらめず、みんなが楽しい 運動会にしよう!

一人一人がゴールに向かって精一杯頑張ろうとの思いを込めたテーマのもと、5月23日(土)運動会を実施しました。天候にも恵まれ、元気いっぱいグラウンドを駆け回る五条っ子の姿が見られました。

自分の出場する競技はもちろん、仲間と協力する姿、仲間を精一杯応援する姿、係活動で運動会を支える高学年の姿...など、学年に応じた、ほほえましい様子や、力強く逞しい様子を見ていただけたのではないかと思います。

地域の皆様、保護者の皆様から送っていただいたたくさんの拍手や力強い応援の声、子どもたちの頑張るパワーとなっていました。

また、運動会閉会後には、テントの片付けや清掃等にもご協力もいただき、ありがとうございました。大きな行事を終え、また一つ成長を遂げた五条っ子。これからの成長も楽しみです。



6月6日 北海道音楽大行進

6月6日(土) 第94回北海道音楽大行進が開催され、6年生児童42名が参加しました。

昨年の秋、先輩から引き継いで、練習を重ねてきました。その取組の成果を発揮する場です。少し緊張している子、演奏を心待ちにしている子、当日の朝は、様々な表情が見られました。

自分たちでデザインしたお揃いのTシャツとキャップを着用し、スタート地点に立ったときには、実に堂々とした、「東五条小学校のリーダー!」という雰囲気を感じられました。

沿道では、保護者の方はもちろん、応援に来てくれた先輩や後輩の姿もありました。たくさんの温かい声援を受け、仲間と心を一つにした演奏を届けることができました。



1~4年生遠足に出かけました!

6月12日(金)学級・学年の仲間と、学校を離れ、自然の中で楽しく活動したり、施設を見学したりする遠足を実施しました。少し雨が心配される天候でしたが、元気に出発!目的地は、1年生が金星公園。2年生が新富公園。3年生は、消防車や市役所の見学、4年生が新橋下りペラインパークです。

みんなで相談した遊びをしたり、水遊びを楽しんだり、市役所では議場を見学したり...と、どの学年も充実した時間を過ごすことができました。

また、当日は、保護者ボランティアの方々にも、遠足に同行していただきました。ご協力のおかげで、安全に遠足を実施することができました。大変ありがとうございました。



心のスイッチを入れる「元気な挨拶」

本校では、現在、「あいさつをしっかりしよう」という目標に取り組んでいます。少しずつ、元気な声が響くようになってきました。挨拶の習慣は、毎日の生活の積み重ねです。ぜひご家庭でも、「おはよう」や「こんにちは」、ご飯のときの「いただきます」等々、挨拶を意識してみてください。大人の姿を見て、子どもたちはさらに進んで、また、自然に挨拶ができるようになります。「元気な挨拶」は、相手を大切にすることにもつながりますね。家庭と学校で一緒に応援していきましょう。



安全に楽しく過ごしましょう!

日も長くなり、放課後や休日に公園やグラウンドで元気に遊ぶ五条っ子の姿が見られます。

太陽の光を浴びて、元気に体を動かすことは、健やかな成長に欠かせないものです。一方でトラブルが起きてしまったり、熱中症、交通事故、不審者等の危険も潜んでいたりします。そこで、次のことにつきまして、ご家庭でもお子さんと気を付けるよう確認をお願いします。

公園や公共施設での過ごし方を考える。
用事がないのにお店への出入りはしない。
おごったり、おごられたりしない。
帽子をかぶり、こまめに水分補給をする。
自転車の安全な乗り方や道路横断の仕方。
知らない人には絶対について行かない。